

来たし、こゝで動物園は完成した事になる。そこで、始めの計畫通りに幼稚園の各組へご案内をして見に来て頂く準備にぎりかゝらなければならない。ほんまうの動物園でする様に、動物の名を貼り出して置かなければならない。それから、皆さんに見ていただくにしても、一人々々に入場券を出して来ていたゞいた方が、いかにも動物園へ行つたと言ふ感じが出るので、入場券作りもしなければならぬ。入場券を手に入れたり、動物に與へる餌を得るにはお金も必要。そこでこのお金も用意しておいてお客様に差し上げる。

### 唱歌遊戯

#### 第五週

#### 唱歌 三回

おもちゃのマーチ (童謡唱歌名曲全集)

可愛らしく元氣に歌ふこと。

それから、各組へご招待状を書く。幼稚園中に、動物園開園を知らせるポスターを貼り出して景氣を添へる。

いよく開園の當日になるに、ぎの役割も超満員云ふ盛況なので、目まぐるしい程に忙しい。開園の前日に、お金をあげる人、切符を賣る人、切符を切る人、案内人、掃除人、ゑさ賣り、番人等も、一組總出で働く。見る人達も珍しがつてよろこんで呉れるし、見せる側でも忙しい目をするこゝただけでも嬉しいのに、みんなの悦ぶのを見てはいよく張り合が出て来て、盛會裡に、満足裡に今日の開園は終るのである。

歌ふ時の姿勢を注意し、口をよく開けて歌ふ様にさせる。

#### 紀元節の歌

長少組と同じく、やはり先生が歌つて聞かせる。

## 遊戯 二回

自由 表現「おもちゃ」

おもちゃのマーチの歌にヒントを得て、みんなで自分の好きなおもちゃになつて見よう。相談をする。めい／＼に好きなおもちゃの名前を云ふ。兵隊さん、お人形さん、キュービー、犬、兎、等々。

皆がする事を約束して、一人か二人づゝ出て自由に表現させて見る。大變面白い。曲は例へば兵隊さんなら勇ましい曲、お人形は可愛い曲。云ふ様にそれにぴつたりした曲がすぐに弾ければそれに越した事はないが、萬人向きのかはいゝ一曲を弾けばよいことにしておく。

今までも動物園の動物とか、お池の中のものとか其の他色々自由表現の機會を作つてゐたので、誰れもいやがる者もなく喜んでする。

この可愛い子供たちの簡単な表現をそのまま生かして、一つのまごまつたものにして見たい。考へて見た。演出的な遊戯で「おもちゃ箱」でも名付けて、極簡単な飾りをつけ、おもちゃ箱から次々に色々なおもちゃがこび出

して来て、それ／＼を表現して見るのも面白いだらうと思ふ。

又その事を子供たちに相談をして、早速それでは云ふので子供たちの手で、めい／＼のおもちゃの衣装をつくる用意をする。

## 第六週

唱歌 二回

キュービーちゃん(新作唱歌遊戯)

これも本當に可愛いお唱歌。

遊戯 二回

キュービーちゃん(記事参照)

キュービーさんは子供たちに可愛がられるおもちゃである。可愛い振りがついてゐて、目をくり／＼させながらしてゐる様子を見る。尙可愛い。

## 第七週

唱歌 一回

おさらひ。

遊戯 二回

## 演出遊戯

春(記事参照)

この頃の時期にもなれば、子供自身の持つてゐる創造的な表現の機会を與へたいと思ひ、この様な題材を選んで見た。

春の野にまだねむつてゐた草花は暖かい陽さしにねむりからさめる。そよ風のまに／＼花はゆれる。蝶々は舞ひ、子供たちは喜びに満ちてあそぶ。その様な氣持を音の流れにつれて表現する。簡単な飾りをつけてする事に依つて一層感じが出る。

## 第八週

唱歌 一回

おさらひ

遊戯 三回

演出遊戯

おもちゃ箱(幼児教育三十六卷二月號参照)

おもちゃの簡単な飾りも出來上つた事まで、総合的な

「おもちゃ箱」をやり始める。

丁度お雛祭りの集りを控えてゐるので、その日にして樂しまれる様にミ袴を着た五人囃子を初めとし、まわしを付けたお角力さん、袴を着て烏帽子をかぶつた行司、お面をかぶつたキュービーに、首振り人形、兎、兵隊、舌切雀とお爺さん云ふ色々のおもちゃが揃つた。それがおもちゃ箱から一曲如に一人づゝ又は數人づゝ繰り出してくるわけ、一曲の間にそれ／＼の簡単な表現をして、順順に一つの場所に集り、最後に全部のおもちゃが勢揃ひをして「おもちゃのマーチ」を歌ふ。實に愉快的氣持で樂しくする事が出来る。

## 第九週

唱歌 二回

汽車(童謡唱歌名曲全集)

遊戯 二回

色々なものをする。

## 第十週

最後の幼稚園生活の楽しみを心ゆくまで味はせたいものと思ふ。

唱歌や遊戯に於ても、年少組の初めつから習つたものを思出して見るさか、好きなものをして、出来るだけ楽しい時を過したいものだ。

### キュービービーちゃん

戸倉ハル氏振付  
新作唱歌遊戯

準備 二人づゝ向ひ合つて組み圓形又は列

になる。

前奏 両手の五指を開き肘から曲げて掌を向ひ合はせて胸の邊にあげ、すり足でこまかく歩きながら右廻りに自分の周圍を一まはりする。そして最後の音で兩足を左右にきんで開き手は元氣よく上にのばす。

### 一、キュービー

前奏で足は左右に開き手は上にあげてあるがそれを高くきぶ事によつて足は揃へ手は前の様に胸のミこころに持つて来る。

### ビーちゃん

両手を五指を開いたまゝ胸の邊にあつたのを今度は腰の所に持つて来るやはり五指を開いたまゝで掌を向ひ合はせる。

### ハダカンボ

兩手を肘から曲げ胸の所で組み合はす。

### ハダカデハダシテ

右足を一步右に開くと同時に右手を右斜下に五指をひろげたまゝでのばす、次に左足を左に開き左手を左斜下にのばす。

### ナニミテル

足も手も横に開いたまゝで顔を右にまはしうなづき次に左にまはしてうなづく。

### オホキナオメメラ

きんで兩足を揃へるミ同時に兩手でめがねを作り兩方の目にあてる。

### バツトアケテ

目にあてた手を元氣よく五指を開き掌を向ふにむけて前にのばす。

### アラオドロイタ

右足爪先を一步前に出し體を前にかゝめて兩手は五指を開き前下へのばす、すぐに足は元に戻し兩手は肩の前で

掌を前むきに開く。

オドロイタ

同じ動作を左足と左手で行ふ。

二、キュービーピーチヤンハダカンボ

ハダカデハダシデナニミテル

一番と同じ

チツチャナオテテラ

右足踵を左足の一步前につけ右手を五指を開き左前に掌を左横にむけて出し上體をかゞめその右手の指の間からのぞき込む様な形をする。

パツトアケテ

右手右足は元に戻し左手右足で前と同じ動作をする。

アラオドロイタオドロイタ

一番と同じ。

三、キュービーピーチヤンハダカンボ

ハダカデハダシデカハイイネ

一、二番と同じ。

イツデモゴキゲン

二人組むだ中の一方の者は両手を五指を開き腰の所で掌を向ひ合はせ、車の様に軽くまはす、と同時に兩膝を揃へて曲げたりのぼしたりする。他方の者は右手人さしゆびを軽く動かしながらゆびさす。

ニコニコト

前と同じ動作を今度は交代して行ふ。

アラカハイイネカハイイネ

前奏と同じ動作であるが今度は自分の周圍を一周するのではなく二人が二人の立つてゐた二點を橢圓形上に結びその圓周を一周する様な形になる。

春

準備 豫め、蝶々、すみれ・たんぽぽ・さくら

草・子供等の配役を定めておくそれ／＼三

人位づゝ一つの役を定めておくこよい、て

ふくは布にて作りし黄や白の羽を背につ

け、二本のひげをつけた冠をつける、花は

それ／＼花の冠をかむる。子供は美しい髪

飾りをつける。

曲はぎの曲を用ひてもよい。又出場人物も花の種類を多くすれば何人にでも出来る。

一、野原で美しい花が咲き揃つた場面。――凡そ十六呼間――花になつた者がそれ／＼同じ花同志手をこつて曲に合はせて或花はスキップで或花は静かなステップで又或花はランニングステップで次々に舞臺に出て来る、手の組み方も其他すべて一組ごとに變つた表現を自由にさせる。

二、咲き揃つた花が互に語り合つて遊ぶ場面。――凡そ十六呼間――二列の圓形を作り向ひ合ひ内側の方は右に、外側の者も右の方へ即ち内側と外側と反對の方向にスキップで元氣に行くこの時行き合ふ者毎に手をこり又離し次の者も手をこり又はなすこいふ様にくりかへして行く。そして最後の四呼間で一列の圓に戻り靜かに休む花は皆踞み掌で美しい花の形を作る。

三、休むでゐる花の間を蝶が舞ひ子供が遊ぶ。蝶が舞臺に出て来る少しおくれ子供が元氣に出て来るそして蝶は兩手を羽の如く上下に動かしながら花から花へこまつて行くこの時の蝶はスキップでもよいし。軽いランニング

ステップでもよい。子供は自由な表現で花の間を遊ぶとして最後の四呼間で皆遊び疲れて蝶は花にこまつたまゝ子供は花の間で眠つてしまふ。

四、皆眠りから醒める。――四呼間――

花・蝶・子供こいふ順に元氣にはね起る。

五、皆一しよに愉快に遊ぶ――三十二呼間――

全部圓周になり圓周上手をつないで左へスキップで行く、――八呼間――

次に右へ行く、――八呼間――

次にやはり手をつないだまゝ圓心に向つてスキップで進む――八呼間――

靜かに踞む――四呼間――

手をつないだまゝ上に手を高くあげ上體をやゝ後にそらせる。

「この振は一例に過ぎないのでありますから皆様が御自由振をおつけ下います様御願ひいたします」。